



## 御船小「ふるさと御船学」～御船町の人・自然・歴史・文化に学ぶ～

昨年度に引き続き、御船小「ふるさと御船学」として、生活科・総合的な学習等を行っています。御船小「ふるさと御船学」の目的は、「地域と積極的に関わる体験活動の場を設定し、ふるさと御船に誇りを持ち、地域と関わり合いながら自分の将来の夢について考える」ことです。

御船小「ふるさと御船学」を通して、御船町の人・自然・歴史・文化を、大好きになってほしいと思います。今回は、6年生の取組例を紹介します。

### ～6年生・総合的な学習「御船町探検」・理科「ふるさととの地層」～

12月5日（木）に小坂大塚古墳・御船群地層・東禅寺見学に行きました。

小坂大塚古墳では、古墳の周りを歩いたり、古墳の中にあつた埴輪を実際に触ってみたいしました。ガイドさんが「みんなの横にある森みたいなのが古墳ですよ！」と説明があると、「え！これが！！??」と不思議そうに見ていた子どもたち。その後、埴輪を実際に触らせていただきました。熊本県で2番目に大きい円墳が御船町にあることを知り、子供たちも、私自身も勉強してよかったと思いました。

次に、御船群地層を見学しました。理科専科の佐藤隆幸先生に地層についての説明をしていただきました。昔は海の底にあり、それが盛り上がったものであることや、白いところが火山灰であることなど話を聞きました。実際に地層を見ることができてよかったです。

最後に、東禅寺に行きました。西南戦争の時のお話を聞いたり、防空壕の中に入ったり、住職さんから話を聞いたりしました。初めて防空壕の中に入り、「真っ暗で狭い」ことを実感しました。「住職さんからは、「想像する力を大切にしてください。今の自分の言動が人を傷付けないか、人を喜ばせるのかを想像しながら生活してほしい。」とおっしゃっていました。今の自分を見直すきっかけになったと思います。もっと御船町のことを知りたいと思いました。（稲葉由香先生より）

